

川づくりワークショップ

【第4号】
平成24年9月3日発行
古賀市役所建設産業部建設課

第4回ワークショップ開催！

～現地観察に行ってお大根川の生物調査・
水質調査を行いました～

当初、第4回ワークショップは平成24年7月7日(土)に開催する予定でしたが、降雨が予想されたことから順延としておりました。

1ヵ月空きましたが平成24年8月25日(土)、今回は晴天の中、市民の皆さんに集まっていただき、第4回ワークショップを開催しました。

今回のワークショップは、整備イメージを検討するにあたって実際どんな植物が繁茂しているのか、どんな魚が泳いでいるのかなど、現地の状況をもっと深く知った方がよいとの判断から、第1回ワークショップに続き2回目の現地観察を行いました。

では、第4回ワークショップを振り返ってみましょう。なお、当初予定していた他の河川の川づくりの事例紹介については、時間の都合上行いませんでした。

第4回ワークショップの内容

今回のテーマ

- ・もっと深く大根川を知ろう(現地観察)
- ・子ども版ワークショップの報告

もっと深く大根川を知ろう(現地観察)

4月に開催した第1回ワークショップ以来の現地観察。現地に行くと、まず外観が4月と比べて大きく変わっているのが目に飛び込んできました。

雑草が生い茂り、水辺へなかなか近づくことができません。先日、子ども版ワークショップの開催にあたり護岸の雑草を一部草刈しておりましたが、1ヵ月少々でかなりの雑草が繁茂していました。雑草の生命力の強さを感じるとともに、日々の維持管理の大切さを痛感感しました。



4月の様子



8月の様子

水辺では、まずは投網による生物調査を行いました。瀬を好む魚、淵を好む魚、岩の下を好む魚など12種の魚類を確認することができました。また魚だけではなくカニやエビも生息していることがわかりました。

一例を挙げるとメダカ、ギンフナ、シマヨシノボリ、オイカワ、オオクチバス、モクズガニ、ヌマエビなどです。



生息していた魚の説明

また、植物では、元からこの地で繁茂した植物、また、別の箇所から種子が飛来したり流されたりしてこの地で繁茂した植物などいろいろな植物を観察することができ

ました。

さらに、水質も調べてみました。簡易調査であるためこの数値が全てではないと思いますが、思った以上に水がきれいであることもわかりました。

水質調査結果

測定項目	測定値 (mg/L)	目安
COD 化学的酸素要求量	5.0	川の下流 2~10mg/L。
NH ₄ ⁺ -N アンモニウム態窒素	0.35	0.2mg/L未満はきれい。 0.5mg/L以上は少し多い。
PO ₄ ³⁻ -P りん酸態りん	0.1	0.05mg/L未満はきれい。 0.05~0.2mg/L以上は少し多い。
NO ₂ ⁻ -N 亜硝酸態窒素	0.01	0mg/Lはきれい。 通常は0.2mg/L以下。
NO ₃ ⁻ -N 硝酸態窒素	0.35	1mg/L未満は少ない。 通常は1~2mg/L前後。

子ども版ワークショップの報告

平成24年7月23日（月）、小学2年生から中学2年生の子ども達20名に集ってもらい、子ども版ワークショップを開催しました。

このワークショップは、子ども達の川に対する思い、意見を取り入れることでさらによい川づくりの検討ができるものとの思いから、子ども達の思いや意見を聞き取る場として開催したものです。

今回のワークショップでは、子ども達から出された意見をホワイトボードに張り出し、皆さんに見ていただきました。また、スクリーンで子ども版ワークショップの状況を報告しました。



子ども達からいただいたアンケートの掲示



子ども版ワークショップの報告

子ども達のアンケートを見ると、遊べる川、魚釣りができる川、ごみのない川、生物が安全に住める川などに整備してほしいとの意見が出されていました。また、水鉄砲大会、手漕ぎボートで川を渡りたい、川に飛び込む滑り台があったらいいといった意見も出され、私たち大人が考えつけないアイデアもあったように思います。

本日のまとめ

現地観察を行って、思った以上に多種多様な生物の生息、植物の生育がわかりました。瀬を好む魚、淵を好む魚、水辺にしか咲かない花、どこでも生育する花など、それぞれの個体で生息できる環境、生育できる環境が異なっています。

そのため、川づくりを行っていくにあたっては、これらの環境を奪うことなく、保存していくという観点がとても大切であることがわかりました。

また、子ども達の思いや意見にもあったように、川に対する思いは多岐にわたります。地形形状、治水上、利水上の諸条件がある中、全ての意見を取り込むことは難しいところですが、多岐にわたる意見をどう川づくりに活かしていくかも考えていく必要があります。

また、ワークショップの進め方についても意見が出されました。早く整備イメージの検討に入ったほうがいいのではないかとといった意見、現地観察や川の歴史などの学習を重ねながら整備イメージを検討していったほうがいいのではないかとといった意見。参加された皆さんにもいろいろな意見があるようです。

次回から模型を使って整備イメージの検討に入ります。ぜひ、皆さんの川に対する熱い思いや意見を次回のワークショップで発していただけたいと思います。

次回のワークショップのご案内

今回は、**9月23日（日）13:30~15:30**、**市役所大会議室**で開催します。

テーマは次のとおりです。お誘いあわせの上、皆様のご参加をお待ちしております。

次回のテーマ

- ・ 現況の模型を囲んで整備イメージの検討